

乳牛とのふれあい搾乳体験

●●● 4.20



さくらこども園では、JA遠州夢咲酪農委員会を招いて、5歳児3クラスの園児が牛の乳搾りを体験しました。

御中生が海岸清掃に汗流す

●●● 5.6



御前崎中学校の全校生徒が、御前崎海岸でウミガメ保護監視員らと亀バックホーム大作戦に取り組みました。

ぬるぬるの感触気持ちいい

●●● 5.13



門屋地区の水田で高松幼稚園のどろんこ体験が実施され、園児たちは、水を張った田んぼを元気よく駆け回りました。

どんどん広がれ子育ての輪

●●● 5.17



浜岡総合運動場で「にこびよパラ運動会」が開催され、子育て中のお母さんと子どもたちが絆を深めました。

アイデア満ちた力作ぞろい

●●● 5.19



マリナーパーク御前崎で御前崎中学校1年生による砂の造形大会が開かれ、灯台やウミガメなど15作品を完成させました。

収穫作業は大変だけど楽しい 穫楽しみ農業体験農園

●●● 5.15

農業体験農園は、体験農園を普及させること、農作業を体験することで農業に関心をもってもらうことを目的に実施するもので、市が県砂地ほ場跡地へ10区画の畑を用意し、モニターを募集しました。

この日は、県中遠農林事務所の職員から指導を受けた10家族が、トマト、カボチャなどの苗の植え付け作業をしました。市農林水産課では、将来、この取り組みが荒廃農地の解消につながればと期待しています。

▼トウモロコシ畑に水かけする親子



今年もカメがやってきた アカウミガメが上陸産卵

●●● 5.18

浜岡砂丘で、今年初となるアカウミガメの産卵が確認されました。昨年よりも一週間早く、95個の卵が産み落とされていました。

例年、市内の海岸では、6月中旬から7月中旬をピークに、お盆過ぎまで産卵シーズンが続きます。

市ウミガメ保護監視員代表を務める大池良一さんは「気温も上がり、これから産卵シーズンを迎える。今年もたくさんのカメの上陸を期待している」と話しました。

▼産み落とされたタマゴを確認する監視員

